

武道・スポーツ科学研究所年報 第12号・2006年度・目次

はじめに

研究所長 魚住 孝至

I. 2006年度（2006年4月～2007年3月）プロジェクト研究

A 特定研究プロジェクト

1. 武道と現代に関する総合的研究 ————— 1
—研究の枠組み・体制・関連活動の基礎的構築—
○田邊信太郎 魚住孝至 小林啓三 石毛勇介
2. 日本武道の比較文化論的研究 ————— (1)280
(1) 東アジアにおける日本の武道文化の成立と展開 …………… (1)280
○魚住孝至 田中 守 林 伯原 立木幸敏
吉田鞆男 大保木輝雄 阿部年晴 高橋克也
大石純子 仙土克博 朴 周鳳
• 2006年度プロジェクト研究の概要
• 新陰流組太刀研究3「九箇」
(2) アジアにおける組み討ち系武術の比較研究 …………… 11
—「サンボ」の調査研究—
○柏崎克彦 矢崎利加 橋本敏明 山下泰裕 金野 潤
武内政幸 中島 隼 山田利彦 アレックス・ベネット
3. 「武道健康論」研究 ————— 25
—健康にかかわる「観」と「概念」を再考する—
○小林啓三 田邊信太郎 林 伯原 木村寿一 小林正佳
4. 武道におけるスポーツ科学研究に関する調査、
及びその活用を目的としたデータベース構築の検討 ————— 53
○石毛勇介 宮腰浩一 丸橋利夫 井上哲朗
立木幸敏 井下佳織 小西由里子 木村恭子
黒川道子 松尾牧則 黒田敦子

B 一般公募プロジェクト

- I. 武道周辺の歴史的研究 ————— (29)252
1. 武士道の研究III …………… (29)252
○羽賀久人 魚住孝至 松尾牧則 古川哲史 加藤貞仁
• 小笠原昨雲著『当流軍法功者書』翻刻
2. 中国武術史の研究をめぐる諸問題及び中国武術史の基本用語に関する研究 …… 69
○林 伯原 周 佩芳 野田昭彦 原田直之
- II. 武道関係の研究 ————— 93
1. 武道に特徴的な基礎的身体運動と人格に関わる予備的研究 …………… 93
○石塚正一 田邊信太郎 山本正嘉 安久津洋巳

2. 柔道指導者の性格特性と指導方法との関連性について	107
○佐藤記道 石井兼輔 宮腰浩一 越野忠則 高見令英	
3. 日・韓大学柔道選手における体力比較	113
○宮腰浩一 林 淳吉 山本利春 小林啓三 樗澤隆治	
石井兼輔 越野忠則 笠原政志 井下佳織	
4. 障害者への武道指導法確立のための事例調査研究	121
○松井完太郎 高見令英 丸橋利夫 木村寿一 矢崎利加	
アレクサンダー・ベネット 阿部哲史 井下佳織	
マイク・ウオール ホントス・ジョハンソン	
III. スポーツと医科学研究	127
1. スポーツ傷害予防を目的とした運動機能評価法の検討	127
○酒井洋紀 山本利春 笠原政志 太田千尋 岩垣光洋	
松井健一 大塚俊介 久家暁子 永井将史	
2. 学生トレーナーによる学内スポーツ医科学サポートシステム	135
○山本利春 酒井洋紀 笠原政志 小西由里子	
石毛勇介 眞鍋芳明 太田千尋 岩垣光洋	
井下佳織 佐藤洋二郎 高見令英	
3. 大学ラグビーチームにおけるコンディショニング・アプローチの検討	143
○小西由里子 安ヶ平 浩 宮崎善幸 河谷彰子	
磯野 武 柘津雅彦 野村 亮 桑原 崇	
4. スポーツにおける薬物乱用の実態調査	151
— IT 技術を用いたものに関連して—	
○高橋正人 立木幸敏 河野俊彦	
5. ドーピング禁止薬物の生体影響について	159
— 動物実験による基礎研究—	
○立木幸敏 高橋正人 河野俊彦	
6. 栄養摂取状況がラット骨格筋の形態・機能的特性に及ぼす影響	167
○刈谷文彦 小林啓三	
IV. 健康づくり・学校体育・国際協力	177
1. 「地域における健康・体力づくりの企画と実践・成果」	177
○谷口有子 小西由里子 見波 静 酒井洋紀 井上哲朗	
山本利春 成澤三雄 増尾善久 鶴岡孝一 渡辺聡子	
荻野アサ子 鈴木暁夫 西村理恵子 魚地光夫	
2. 千葉県内地域の子どもの体力向上と生活改善を図る 学校体育プログラムの開発	187
○鈴木和弘 中島一郎 土居陽治郎 小磯 透	
3. 問題行動のある児童生徒をかかえた教師への支援方法と その啓発に関する研究	197
○高見令英 小林朋子 庄司一子 大野建樹 尾崎未希	
4. カンボディア・シエムリアップ州におけるスポーツ講習会の開催と国際協力 ...	203
○木村寿一 松井完太郎 岡田千あき 渡部鏖二	

II. 研究所セミナー

2005年度プロジェクト研究学内発表会 報告	283
------------------------	-----

III. 日本武道館主催・国際武道大学協力 第19回国際武道文化セミナー

1. 開催要項・日程表	286
2. 講義・全体討論会の要旨	288
3. 参加者名簿と参加傾向	294

IV. 国際武道大学研究倫理指針

1. 人に関する研究	298
2. 動物に関する研究	300